



～人情あふれる秘境の地～

なか っ がわ

中津川

「冬の手仕事」

高橋 君子さん

高橋 たけ子さん

(平成 17 年撮影)

「自然を活かし、共に生きる」

飯豊連峰の中腹にある飯豊町の中津川地域では、2mを超える積雪の圧倒的な景観はもちろん、5月までの残雪による「雪見桜」や「雪中鯉のぼり」など、平地では見られない風景に出会える。

中津川の自然は、農作物の生産や冬場の生活にとっては厳しい一面を見せるが、暮らしのなかでうまく付き合い、地域ならではの営みに活かしている。冬期間に行う、筵むしろやすげ笠づくりなどの手仕事や、収穫した農産物・山菜の加工がその一例だ。また、真夏の雪まつり『snowえつくフェスティバル』は、豪雪を逆手にとった珍しい催しとして都市部からも人を呼び込んでいる。

イベントを主催する「中津川地域づくり協議会」には地域の全戸が加入しており、棚田で栽培した農作物による新商品の開発や販路開拓、地球活動の痕跡が残る「ジオサイト」を活かした観光マップ作成など、地域の資源や人の温もりを最大限活かした新しい取組みを地域一体で行っている。

そんな中、今年夏に町中心部につながる中津川橋の損傷が発見され、人や物の流れは狭い迂回路に限られた。住民は不安な日々を過ごしているが、長年受け継がれてきた地域資源を守ろうと話し合いを続けている。今回は多くの人に中津川を知ってもらうことで、ささやかながら一助になりたいの思いから、紹介する。



施設

過去に紹介



Vol.34

白川ダム



昭和 56 年に造成された施設。
4 月中旬に現れる水没林が幻想的。
四季折々の風景を感じられる。

雪室



雪を利用して農作物やお酒を保管する
自然の冷蔵庫。
貯蔵された農産物は糖度が増す。



Vol.9

雪室じゃがいも



中津川で採れたじゃがいもを一定期間雪室で
貯蔵したもの。
糖度が一般的なじゃがいもの倍になる。

食

宇津沢かぼちゃ

約 100 年前から生産されている
中津川の伝統野菜。
独特のホクホク感と甘みが自慢。



中津川の魅力はやっぱり『豊かな
自然と人の温かさ』だべな。中津川
さ来てゆっくりしてっけてろ。
秋は旬の宇津沢かぼちゃ、あとは
甘くなった雪室じゃがいもがおす
すめだべな。あがっておごやえ！

農家民宿

文化



中津川の暮らしを体験できる。
8 軒の民宿があたたかく迎えてくれる。

花笠・すげ笠



Vol.15

山形の夏祭り「花笠まつり」で使われる花笠のほと
んどは中津川産。
冬の生業。

どぶろく



Vol.27

地元の米・水・気候を活かし醸造する「どぶろく」。
白い濁り特有の「とろみ」がある。



雪中鯉のぼり



雪見桜



中津川村づくり協議会
会長 渡部 恵介さん

「中津川地域観光応援キャンペーン」実施中！

／ 詳細は飯豊町商工観光課または飯豊町観光協会へ ／

農産物・加工品等のお買い求めはめざみの里観光物産館・白川荘・中津川エフエフまで！